

「集まれ！荒神っ子クラブ」を開催しました。

イベントガイドでも紹介していた令和4年度彦根市荒神山自然の家自主事業「集まれ！荒神っ子クラブ」を7月2日（土）に催しました。当日は、小学校4年生から6年生までの13人の子どもたちが集まってくれました。昨年度よりは参加者が増えたものの例年よりは少人数でした。しかし、その分目が行き届き充実した活動を行うことができました。内容は、クラフト工作として「水でっぼう」作り、そして作った水でっぼうでゲーム、最後におやつを作って解散という流れでした。例年であれば梅雨のまっただ中ということで心配はしていました。実際前の週は、天候が不安定で雨模様でしたが、祈りが通じたのか週の後半からは天候が持ち直し、その後は梅雨が明けたかのように晴れの連続。当日も晴れ。しかしながら、折からの炎暑。熱中症指数も連日の30超え。やむなく、外の活動を中止にはしたものの無事けがもなく楽しい1日を共有しました。はじめのつどいは、班ごとに集まって、支援スタッフの方が中心となって自己紹介から始まりました。その後、班の活動として名札作りを行いました。各自が思い思いの色とりどりの名札を作り、最初緊張していた子たちも和やかな雰囲気次第に笑顔が増えていきました。次の活動は、水でっぼうづくりです。クラフト棟で作り方の説明を受けまずは、竹づつを適度な長さに切り分けます。太い竹が切れたら、細い竹をのこぎりで切り分けます。なかなかのこぎりがまっすぐ切れなくて苦労したり、



難なく切り分けたりとさまざまでしたがなんとか2本の竹づつが準備できました。次の作業が最大の難所。スタッフによる事前研修でもこの作業が一番時間もかかったし、気もつかいました。つまり、きりを使って細い竹に穴を2カ所開ける作業です。反対側まで通さないといけないので、まずはきりの正しい使い方から。正しく使っても押し込む力がなくくるくるときりだけが回ったり、時には細い竹からきりがずれたり、はずれてしまったりとさまざま

でしたが、所員や支援スタッフの方々の力を借りてようやく2カ所の穴を開けることができました。次の作業は細い竹の穴に竹ぐしを2～3mm通します。その上からスポンジを巻き輪ゴムで止め袋になった布をスポンジの上からかぶせ輪ゴムで止め、底に穴を開けた太い竹の中に入れて完成。と、文章にすれば簡単なものなのですが、中には、太い竹の中に入らず力任せで入れようとしたり、逆にすかすかで何の圧力もかからなかったり、偶然うまくいって歓声を上げたりとさまざま所員やスタッフの方もまさに東奔西走。あちらこちらで声が上がっててんて

こ舞いでしたが、なんとか全員完成した折には思わず拍手をしたい気分になりました。子ども達も頭をひねっていたのが印象的でした。昼食は、食堂の弁当です。本来なら野外クッキングで、ダッチオーブンや飯ごうなどで食材を焼いたりして、こおばしい匂いでテンションアップ、といきたいところでしたが、昨今の社会情勢の中ではさすがに、実施は難しいという判断に至りました。後の感想にも、やはりみんなで野外炊事を希望する意見もあり、今後十分な検討が必要であると、スタッフミーティングで話題として方向性を話し合いました。



その後しばしの休憩をはさみ、午後はクラフト棟前で水でっぼう大会のゲームを予定していましたが・・・この炎暑の中、熱中症の心配もあり無理はしな



いで室内に変えて、ゲーム1では、飛距離計測会。どれだけ飛ぶかを競い合います。思い切って勢いよく押しはたまた目の前に飛び落ちてがっかりしたり、わずかしか押さないのに勢いよく遠くまで飛んで大喜びしたりとさまざまでした。続いてゲーム2と3は、的あてです。なかなか的にあたらずに四苦八苦したり、すぐにあたってかえってびっくりしたりとすこし差がつかいましたが、楽しく対抗

戦ができ、班での絆が強くなった瞬間でもありました。最後のゲーム4では水でっぼうを使って水の移動。雰囲気が一気に盛り上がりました。こうして水でっぼう大会は、和気あいあいの雰囲気で終了しました。最後の活動として、ポップコーンを作りました。一言で作るといってもなかなかこれが大変な作業。アルミ皿の中に材料を入れアルミホイルで蓋を作り火であたため、網の上で揺らして音がしなくなれば完成。なんとか完成して、あつあつのポップコーンをほおばりました。その後、荒神山自然の家の幸せスポットの小山で記念撮影をして、当初クラフト棟での予定を変更して、涼しい集会室にて終わりのつどいをして、解散しました。早速、子どもたちは、保護者の方に今日の活動を笑顔で話している姿が見られました。なお、この事業を行うために、6月18日（土）に支援スタッフに

向けた事前研修会を開きました。水でっぼうの作成の手順や安全に活動するためにはなどを話し合い、当日小雨などの天候下では、どうすれば安全が確保できるのかなどじっくりと確認した活動ができました。また、晴れの場合や雨の場合の活動場所や具体的な内容などを現地で細密にわたり確認することができました。さらに、おやつポップコーン作りでは、作製上のポイントなども試行錯誤をしながらも堅実に作業をこなしていきました。事前研修会をすることによりスタッフも当日の流れや内容が把握でき、当日はゆとりを持ち子どもたちに関わることができていたと感じます。小学1年から3年生対象の「キッズ荒神っ子クラブ」を、11月に行う予定です。また、それまでもさまざまなイベントを考え、子どもたちが、荒神山自然の家に来て、たくさんの友だちと楽しい時間が過ごせるように、楽しい企画を考えてお待ちしております。ホームページや広報などでも紹介しておりますので、ぜひご確認ください。

